

得意先と構築する持続可能な運送形態

FKLogistics

事業者の概要

➤ 運送事業者：株式会社FK物流

- 宮崎県都城市に本社を置く一般貨物自動車運送事業者
- 主に県内で生産された食肉・畜肉・家畜農場向けの家畜用飼料等を輸送
- 宮崎県トラック協会 飼料・畜産輸送部会 部会長

➤ 取引先：日本チルド物流株式会社 西日本事業部南九州事業所・関西事業所

- ニッポンハムグループの食肉輸送を担う一般貨物自動車運送事業者
- 国内外で生産・輸入する食肉商品を量販店・食肉店・外食産業などへ集配
- 全国各地の事業拠点と運送協力会社を相互に連携させ、幹線輸送網から共同配送網を構築し商品を輸送

➤ 荷種：畜肉

問題点の抽出

- 取り組みは約10年前。きっかけは「ドライバー不足」
- 長距離輸送は、拘束時間も長く、荷下ろしなども負担も大きく、ドライバーから「仕事がきつい」という意見もあった
- 「安全・家族も含めて安心して働く」ことができる取り組みを行うことでドライバー不足を解消することが狙い

事業概要



事業内容

- ①山陰地区、関西地区へ「中継拠点」を設け輸送を分離
- ②運送協力会社を拠点先とし、拠点までの「幹線輸送のみ」へ変更
- ③拠点から各配送先への戸別配送は、拠点先の運送協力会社が輸送
- ④関西地区への輸送は「フェリー」を活用
- ⑤関西地区の戸別配送は、日本チルド物流関西事業所が輸送
- ⑥関西発九州地区の配送に関しては拠点納品(拘束時間軽減の為、荷積みをパレタイズ化し付帯作業を無くしていく)

結果

- ①山陰・関西地区まで配送に2日間かかっていたのが1日で到着するようになり「拘束時間が半減」した
- ②個別配送がなくなったことで、これまでよりも業務内容が簡素化され、他のドライバーも対応できるようになった
- ③長距離ドライバーの労働災害がなくなった
- ④長距離ドライバーにとって取得することが難しかった「連続休暇」の取得が可能となった
- ⑤業務への不満を理由とした離職がなくなった
- ⑥ドライバーの勤務年数が長くなり、取引先と顔なじみになり、これまでよりもコミュニケーションが図れるようになった
- ⑦ドライバー伝いに求職者が増えた
- ⑧賃上げを行うことが出来た

結果に結びついたポイント

- ①取引先・運送協力会社が連携して課題解決に取り組んだ
- ②取引先・運送協力会社が課題解決に向けて定期的に意見交換を行った
- ③取引先の方も運行車両へ同乗し現場の問題点を確認するなど率先して取り組んだ
- ④配送先に対しても課題解決への理解を求めリードタイムの調整を行った
- ⑤運賃値上げに対しても積極手に対応して頂いた